



模擬国連 2021 年冬大会

PPP 作成および提出について

2021 年 11 月 30 日

フロント代表

今大会では以下の入力フォームを通じての PPP 提出になります。以下をよく読み、期限以内に誤りのないようにお送り下さい。

<Position Policy Paper (PPP) とは>

PPP とは、議題解説書 (BG) で得た知識をもとに、自国に関する情報を整理し、担当国と政策を立てる手助けをするためのものです。

通常の会議では、様々な項目が設定され、それを一問一答形式で解答するスタイルが一般的となっていますが、大妻主催の模擬国連では大妻主催の模擬国連ではエッセイ形式が定番となっています。各大使が自分自身で情報を精査、取舍選択しながら、本質的な政策をじっくり議論するとともに、どのようにまとめ、伝えるのかという文章表現トレーニングを目的としているためです。

なお、PPP 作成は会議参加をするにあたって大使が果たすべき義務の 1 つです。会議参加をする以上、必ず提出をしてください。

※ 巻末に「リサーチのヒント」、「一問一答形式」の PPP を掲載していますので、ぜひ参考にしてください。

<提出方法>

以下の入力フォームを通じて提出してください。必要事項を入力し、**ワード版の PPP 提出用紙 (別紙)** を添付してください (Google Document のリンク共有や画像での提出は不可です)。

なお、全日本大会の PPP は参考ですので、そちらを提出しないでください。

以下のフォームには大会ホームページからも入ることができます。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・パソコン用フォーム URL https://ws.formzu.net/fgen/S55135680/・スマホ用フォーム URL https://ws.formzu.net/sfgen/S55135680/ |
|--|

<提出期間>

2021 年 12 月 18 日 (土) ~ 12 月 22 日 (水) 16 時 59 分 59 秒 時間厳守

- ・この時間を過ぎるとフォームが閉鎖されます。時間厳守で提出してください。
- ・ネットの不調などの理由も考慮いたしません。時間に余裕を持った提出をお願いいたします。

<注意>

- ① 文頭や文末に議場に対する挨拶や交渉に関するメッセージが記載されていたものがしばしば見られます。PPP は立場や政策のまとめであり、交渉の手段ではありません。その観点から、そのような記載をしないように気を付けてください。仮にフロントが抵触すると判断したものは断りなく削除させていただきます。例えば、「～と協力したい」という一般的な表現は国際協力に関する政策・方針として受け取れますが、「～と話したい、議論したい、一緒に DR を作りたい」というような表現で当日の会議行動に触れたものは交渉に関するメッセージになりうするため削除対象になります。冒頭にあいさつも
- ② PPP 提出用紙のフォントの種類、サイズ、形式は変更しないでください。色付け、下線部、太字の使用もできません。通常の小論文やエッセイ課題と同じように作成してください。
- ③ 原則提出は 1 か国 1 回としてください。再提出された場合は、最新のものを反映させるように努めますが、作業が煩雑であり、本来は資料をこちらが差し替える義務はないため、仮に最新のものがまとめに反映されていなくても掲載内容の訂正は受け付けいたしかねます。
- ④ ボトムライン（妥協しても良いライン）を示すことは交渉で不利となります。トップライン（自国にとって 100 点満点の政策や会議成果）だけを記載し、妥協ラインは記載しないようにしてください。仮にボトムラインが記載されていても、そのまま掲載いたします。
- ⑤ PPP の書式、内容、提出方法など、指示通りにできていないもの、体裁が整っていないものは不受理とします。PPP の受理・不受理については時にフロントと大使が揉めることがあります。不受理の判断は顧問の先生の指示に従い公平にいたします。不受理とならないように各大使の方が責任をもって提出をしてください。

<政策提案>

以下の設問に対する回答を含む形で、担当国としてのスタンス、政策を枠内に日本語の場合 1200 字以内で論じてください。一般議場参加の場合は英語で回答しても構いません（英語の場合 800 words 以内）。

別紙の「PPP 提出用紙」の 2 ページ目に回答をまとめ、ファイルを提出してください。

※ 上記文字数を超えた場合、文の途中であってもそこまでの掲載とさせていただきます。

設問

- ① 移民に関する自国の状況や課題、について述べよ。
（目安：日本語の場合 400 字以内、英語の場合 250 words 以内）
- ② 自国の提案する政策や改善策のトップラインと自国の最も重視する論点を述べよ。
（目安：日本語の場合 800 字以内、英語の場合 550 words 以内）

①、②を分けて論じて、一緒に論じて構わない。すべて合計して上記の字数内におさめること。

リサーチのヒント

以下のような観点からリサーチを進めてみましょう。

<現状>

- ・担当国の移民送出、受け入れの現状と課題、メリットとデメリット
- ・移民による経済や雇用、治安、社会福祉などの現状と課題
- ・自国の人流管理、移民管理、国境管理の現状

<論点の整理>

- ・今会議で担当国にとってもっとも重要な論点は何か。それはなぜか。

<時間軸と課題の整理> 3つの時間軸から課題解決を議論する

- ・短期：即時解決すべき課題は何か。（即時対応）
- ・中期：課題を解決するために整備・構築すべき法や社会、環境は何か。
- ・長期：持続可能な課題解決のために変容を求めるマインド、意識は何か。

<段階的アプローチ>

・2030年、2050年に向けて、具体的にどのような段階を追って解決していきたいか（どのような段階を追えば解決できるのか）。

<国際社会の協力>

- ・課題解決を実行するためにはなぜ、どのような国際協力が必要か。

<国益と国際益の整理>

- ・今回における担当国の国益や立場は何か。
- ・国際社会全体が今会議で目指すべき最低限の会議成果は何か。

<政策の整理>

- ・担当国として訴える政策のトップラインとボトムラインは何か。

※トップライン（100点満点の理想）、ボトムライン（国益が守れる最低限のライン）

- ・訴える政策に対して予想される国際社会の声や反論は何か。
- ・どのような国がその政策を支持し、どのような国が反対すると予想するか。
- ・政策の合わないグループとの相違点は何か。
- ・今回訴える政策がなぜ国際社会の利益になるのか。
- ・政策を実現可能性、具体性、持続可能性という3点で評価をする

参考資料

リサーチ用のワークシート

(これは提出用の PPP ではありません。ご自身のリサーチの参考に活用してください)

[STEP1] ～担当国の基本情報～

担当国の基本情報について、以下の表の空欄部分を埋めてください。

自国周辺地図	
人口	
宗教	
民族	
政治体制	
経済状況	
自国略史	
主要産業	
主要貿易相手国	
外交方針	
所属している国際・地域機構	
その他	

[STEP2] ～担当国の立場～

ここでは担当国が移民についてどのような立場であるかを整理していただきます。基本的に、受入国 / 送出国にあたる質問となっています。国によっては受入国であり、かつ、送出国である国もあると思いますので、臨機応変に対応して下さい。

国を出入りする人口 (受け入れ国の場合+/ 送出国の場合-)	
担当国が正式に認めている 移民の数	
移民によってもたらされる 担当国へのメリット	
移民によってもたらされる 担当国へのデメリット	
移民の主な出身国 / 移民 の主な移住先	
頭脳流入 / 流出における 担当国への影響	
担当国の国境管理の現状	
非正規移民の現状と課題	
困難に直面する移民の保護 に関する現状と課題	

[STEP3] ～論点の整理と政策立案～

論点1：頭脳流出

★自国の立場/現状	
予想される議論の構図 (対立しそうな国／協力でき そうな国)	
★頭脳流出に対する自国の政 策(トップライン)	
頭脳流出に対する自国の政策 (ボトムライン)	

論点2：非正規移民

★自国の立場/現状	
予想される議論の構図 (対立しそうな国／協力でき そうな国)	
★非正規移民に対する自国の 政策(トップライン)	
非正規移民に対する自国の政 策 (ボトムライン)	

論点3：困難に直面する移民の保護

★自国の立場/現状	
予想される議論の構図 (対立しそうな国／協力でき そうな国)	
★移民の保護に対する自国の 政策(トップライン)	
移民の保護に対する自国の政 策(ボトムライン)	

上記を達成するためにするべ き会議行動	
担当国が最も重要視する論点	